
仮面ライダー〇〇〇(エンズ)

聖鍵穴列伝

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

仮面ライダー○○○（エンズ）

【Nコード】

N1668Q

【作者名】

聖鍵穴列伝

【あらすじ】

終焉の王エンズ……3つのメダルで変わる！ 頭！腕！脚！力を求め、今日も戦う。そしていつか手に入れるだろう「究極の力」を……

1話 少年とメダルと出会い(前書き)

カブってなけりゃいいけど……

1話 少年とメダルと出会い

- ドガツ -

幼い少年が壁に叩きつけられる、戦場のような光景……
ビルが、人が攻撃されている。

怪人：「グがが……」そしてそれは、見たことのない怪人のしわざであった。

?：「僕……死ぬのかな？」

怪人が、少年の3メートルほどに迫る。

怪人：「クロス・コワス・ゼンブ」

怪人は、不気味に言い放つ。?：「……」少年は、無言で覚悟を決めた、その時！

- ズバツ - 怪人：「ぐおお!?」怪人がよろめく、そして後ろにいたのは。

赤い仮面 黄色い爪 緑の脚

?：「オー……ず？」

~~~~~

- ガバアツ -

17、8少年が飛び起きた。

?2：「夢……くそっ。」

o p : ( a n y t h i n g g o e s !

?2：「おい、おっさん。」

さっきの少年は、リビングにいた。

?3：「ん?どうした さぶ。」

さぶと呼ばれたこの少年は、青井 三郎

青井：「どうしたもこうしたも、おp要らんだろ。」

?3：「冷たいこと言うな、この風牙 吹苦《かぜが ふく》

おpをせねば気が済まんだ。」

そう言う、40前半の男 風牙 吹苦は、青井に「じゃ、仕事だ」と言い家を出る。

青井：「川、行くか・・・何でだ？」

海岸遺跡にて

~~~~~  
-~~~~-

白い3枚のメダル・・・イツカク、シロクマ、トド。

水色の3枚のメダル・・・シュモクザメ、エイ、クジラ。

~~~~~

樹海にて

深緑のメダル・・・エリマキ、コモド、バシリスク。

~~~~~

谷底にて

茶色のメダル3枚・・・カブト、ハチ、クモ。

怪人：「ふつああつ・・・あれまた マヌーか・・・」

怪人は茶色のメダルを集めると、消えていった。

~~~~~

川にて

黒いあれ、一枚だ・・・かつカラス。

少女：「どおして私だけ。」

がっかりした少女の後ろらへんには、

青井：「・・・何だ？」

赤い髪に赤い目、長髪・・・完全に見たことがある、土曜の夜に・・・

・・・再放送してた・・・

因みに、見たことないです。ウケ狙いです、すみません。

青井：（ほおっとくか？）

少女：「おい、貴様！」

青井：（見つかった！？）

「なっなんだ？」

少女：「ここはどこだ！」

青井：「?・・・ここは」

・きしえええええええつ・

青井 少女：「?!」

クモヤミー：「返せ!マヌー」

マヌー、この少女の名らしい。

マヌー：「ほう、雑魚が。」

クモヤミーvsマヌーの戦いが・・・

マヌー：「きゃあ!」マヌーの敗北で幕を閉じた。

青井：「ヨワ。」

マヌー：「くそ、メダルが・・・究極の力があれば・・・。」

青井：（究極の力?）

クモヤミー：「死ね!」

・ザツ・

マヌー クモヤミー：「?!」

2人の間に青井が入る。

マヌー：「なつなにを?!」

青井：「おい、その究極の力。俺も興味がある。」

マヌー：「ほう?・・・ではこいつをやるっ。」

マヌーが、取り出したのはオーストライバーに酷似した、金のライ

ンと白い素体のバツクル・・・

クモヤミー：「?!」

青井：「こいつは。」

マヌー：「終焉の王・・・」

青井：「は・・・説明にな」

クモヤミー：「やつ止める!」

クモヤミーの慌てぐわいに青井は、

青井：「ま、すごそうだな。」

バツクル付けた、その時。

青井にいろいろ流れ込んできた。

青井：「ほう。」

青井は3枚のメダルを、バックルに、はめ斜めにする。

そして、白いオースキャナー。エンスキャナーでスキャンする。

- チャリン チャリン チャリン -

【k a r a s u - k o m o d o - t o d o k a k o d o k a  
k o d o】

カラスを思わせる鋭い黒い頭

爪の鋭いトカゲ思わせる深緑の腕

冷たく重いトドを思わせる白い脚

青井：「これは・・・」

マヌー：「終焉の王、エンス。」

青井：「エンス・・・」

クモヤミー：「ちっ！」

青井：「殺るか。」

真ん中のエンブレムの深緑が光り、手の先へ。すると腕から爪が伸びる。

青井：「おら！」

- ガンシュ -

クモヤミー：「ぐふっ！」

- チャリン チャリン -

クモヤミーから、メダルが落ちる。

青井：「なんか気持ちいいな。」

クモヤミー：「くっそおおおおお！」

マヌー：「ほら。」

マヌーは青井に水色のメダルを投げた。

青井：「おお。」

コモドと入れ替えにそれを入れ、エンスキャナーを滑らせる。

【k a r a s u - e i - t o d o】

すると腕が水色になり、尻尾のようなムチが右手から伸びる。

青井：「ヨッ。」

青井はそれを振り回し。

- べちっ -

クモヤミー：「うっ！」

クモヤミーに当たる。

クモヤミー：「ぬうあ！」

青井：「エイは尻尾に毒がある。」

つまり彼の、運命は、

クモヤミー：「ぐっはあ！」

- ドカーン -

クモヤミーは毒に犯され爆散した。

マヌー：「セル散らかり放題。」

?4：「・・・」

その光景を見ている青年が一人、奇妙なバイクに跨がっている。

そして、その青年の足元にはタカカンドロイドに酷似した、

黒いカンドロイド カラスカンドロイドがたくさん居た。

?4：「横取りはいかれた奴のすることだ、しかし・・・行け。」

7

青井：「解除。」

青井は白いオーズドライバーもといエンズドライバーの元に戻す。

マヌー：「・・・」

青井：「・・・」

二人は見つめ合う、その間にもカラスカンドロイドが迫る。

現在メダル カラス1 コモド1 トド1 エイ1

1話 少年とメダルと出会い（後書き）

マヌーのメダル講座

マヌー：「カラスメダル 色 黒 持ち主 マヌー

カラスの力が宿ったメダル 視力が増幅する」

## 2話 剣とバイクとでかい奴。(前書き)

前回までの仮面ライダー○○○は、

- 1、 ある少年が、仮面の戦士の夢を見る。どうやら、彼の名はオーズ
- 2、 そんな時、川で不審な少女と遭遇。怪人との戦いを、目撃。
- 3、 少年、○○○ エンズ になる。



ユ一」

顔は、はっきり見えないが女性が、ケーキを作っていたが、ぐちゃぐちゃである。

カラスカン：「カラスー……」。」

~~~~~

マヌー：「何んなんだ！」

青井：「腹こわすぞ。」

マヌーは団子を妬げ食っていた。

青井：「ところで、」

マヌー：「ぬ、奴はヤミー。」

マヌーは、自分たちについて、説明し始める。

青井：「ヤミー。」

マヌー：「で、私はグリード。」

青井：「グリード。……で、」

マヌーは何？、という顔で青井を見る。

マヌー：「『で、』とは、嗚呼わかるように……」

おお、見る。」

マヌーは、団子と黒と銀のメダルを見せる。

マヌー：「黒が棒、銀が餅それがグリード。」

青井：「で、棒なしがヤミーか。」

マヌー：「ぬん、上出来だ。」

「解ったか」と言うような、笑顔を浮かべるマヌー。

青井：「ふん。」

(だって……俺のセリフが)

~~~~~

男性：「金が欲しい」

三十後半の男性が銀行の前に立っていた。

男性：「金が……」

？：「その欲望、開放しろ」

男性：「？」



幼い少女の声：「お母さん・・・」

少女が手を放す。しかし、-がし-

青井：「おっと!」

幼い少女の声：「・・・」

青井：（放すもんかよ、ぜってえに・・・）

女の子：（サブちゃん・・・）・・・っ!くそお

おお!!!」

青井は少女を引き上げるが、-ツルツ-青井：「あっ!

ああああああああああああああああああああ!!」

落ちた。

マヌー：「ほら。」

マヌーが青井に向かって、ドライバーとメダルを投げる。

青井：「くつ。」

急いで装填し、

-チャリン チャリン チャリン-

【k a r a s u - k o m o d o - t o d o k a k o d o k a

k o d o】

-スタツ-

変身、見事着地。

青井：「行くk」

?2：「待ちな。」

マヌー 青井：「!?!」

驚いた二人が振り向く、

一人の青年が居た、この間の青年。

?2：「これやるよ。」

すると、縦長の窓が付いた剣を取り出す。

青井：「あ?」

マヌー：「剣。」

?2：「セルメダル、入れてみな。」

マヌー：「メダジャリバー。」

?2:「うーん惜しいな、メダブレイバー。後これ、」  
青年が白い自販機を指さす。

?2:「こいつは、メダルを入れて・・・  
こいつを押すと。」

【aitann】  
缶ジュースが出てくる。

-ぶしっ  
開けると、

-えいいい  
円盤になった。

?2:「で、これ。」  
-ピポ-

白い自販機が白いライトベンダーになる。

?2:「こいつが、ヘビィベンダー。じゃ。」

-ぶーん-

青年はヘビィベンダーで帰った。

青井:「よし、」

青井はヘビィベンダーに乗り、いつの間にか道になったエイカンで空を走る。

青井:「早速。」

メダブレイバーにメダルを入れる。

-ジャキン!-

コモドヤミーを、切り付ける。

コモドヤミー:「ぎゃあん!」

青井:「はん!ああ?」

(引き金?)

青井は引き金を、弾く。

-カチッ      バシユン!-

メダルが、飛んでいった。

-バンッ-

コモドヤミー：「グア！」

青井：「へえ。」

コモドヤミー：「ぎゃおん！」

青井：「ぐお！」

激怒したコモドヤミーが攻撃するが、ギリ除けて。

青井：「はあ！」

-ズブツズブツ-

走りながら、切り抜き。

コモドヤミー：「ぐおおおおおおおおおおお！」

青井：「うおおりややや！」

-ズバズバズバ！ズバン！！-

-ドカアアアアアン！！！！-

青井：「いしやあ！」

爆散した、コモドを見て雄叫びを上げるあおいを見て。

マヌー：「ふっ」

マヌーは安心して、笑う。

現在の所持メダル カラス 1 コモド 1 トド1 エイ 1

## 2話 剣とバイクとでかい奴。(後書き)

マヌーのメダル講座

マヌー：「トドメダル 色 白 持ち主？」

トドの力が、宿りしメダル。 トドレッグから放たれる、蹴りは重く冷たく有らゆる物を、凍らせる。スロットの内、どれか1つに白が有ればその部位に凍結効果が付く。更にコンボで吹雪を起こせる。」

次回の仮面ライダー○○○は、

マヌー：「私のヤミーは装備型。」

青井：「武器に、成るのか。」

翠怪人：「俺の名は、シド。」

青井：「知るかよ。」

3話 装備とトカゲと翠怪人。

## 設定（前書き）

更新するので日々変わります。

## 設定

青井 三郎 (18)

身長 182 体重 65

好きなもの【猫】 嫌いなもの【犬、過去】

正義感の強い少年。髪は青 髪型はホスト風のショートカット  
目の色は、左は黄色右は青。

仮面ライダー○○○(エンズ)に変身する。

マナー (?)

身長 168 体重 10

好きなもの【お前の欲望】 嫌いなもの【お前の欲情】

グリード。髪は赤 片まで伸ばしている。

目の色は、赤。

宝石など光るものが好き。

仮面ライダー○○○(エンズ)

身長：194cm

体重：150kg

パンチ力：3.6t

キック力：35t

ジャンプ力：ひと跳び150m

走力：100mを7.5秒

必殺技【カコドキック】(ライダーキック)

ライドベンダー(マシンバイクモード)

全長：2.320m

全幅：0.920m

全高：1.125 m

重量：390 kg (カンドロイド積載時)

最高速度：610 km

カンドロイドとの合体により有らゆる用途に使える。

## 設定（後書き）

中途半端に挟んだな。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1668q/>

---

仮面ライダー〇〇〇(エンズ)

2011年10月8日14時53分発行